

360 の快感! IPIXで絶景を楽しもう

インターネットマガジン編集部・編

IPIX

「ウェブ上の風景はどれも絵ハガキ的でどうもつまらない」

と思うあなたにぴったりのソフトウェアが登場した。

その名は「IPIX」。ウェブ上で360°の風景が

楽しめるというすばらしいツールだ。

これを組み込んだサイトなら、上下左右の景観が自由に楽しめる。

さあ、あなたもIPIXを組み込んで360°全方向に広がる景色を体験してみよう。

PART 1

これがIPIXだ!

「IPIX」というロゴが数秒表示された後にパッと表示された画面。マウスを重ねると、ポインターが矢印になる。マウスのボタンを押しながらゆっくりと動かすと、なんとスムーズに画面がスクロールした。しばらく触っていたら、自分がまるで「そこにいる」かのような錯覚を覚えた。そう、それがIPIXの魅力だ!

コンピュータでビジュアルを楽しむ際には、やはり単なる動画や静止画ではなく、ユーザーがマウスを操作することで、相互に操作できる、つまりインタラクティブな操作が楽しめるコンテンツを期待したいものだ。IPIXは、そんな楽しみが満喫できるソフトウェアだ。初期画面の画像が、マウスをクリックしたまま動かすだけで、上下左右に自由に動かせる。

今までこのようなソフトウェアには、アップル社の「クイックタイムVR（以後、QTVRと表記）」があった。ただ、QTVRの場合は、左右は自由に動くものの、上下は少ししか動かない。広大な原野に立ったとき、そんなときには空を見上げ、大地を見下ろしたい。IPIXなら、上下左右あらゆる方向に向けられるので、臨場感のある画面を楽しめるというわけだ。たとえば右の図のスタジアムの写真を見ていると、さながらアメリカで本当にフットボールを見ているかのような気分になってくる。現代人は首の上下運動が少ないと言われる。通勤中に空を見上げる余裕がない人も、この際、家でゆっくりくつろぎながらIPIXの風景を楽しもう。

IPIXはQTVRと違って、さまざまなかげがある。まず、画面に音やリンクが貼り付けられる。画像を動かしながらマウスのポインターが指定した範囲内に入ると、音声やMIDIデータによる音楽が楽しめるようになっている。将来は、動画も貼り付けられるようになることなので、要注目だ。また、画像はただ上下左右に動くだけではなく、画像を拡大したり縮小したりできる。注目すべきは、拡大したときの画質の良さ。これはただ単に粒子を粗く拡大するのではなく、粒子をある程度一定に保って、周囲の色などを最適化させながら、微妙に変化させていくからだ（もちろん、あまりに近寄れば画質は粗くなってしまいが）。

なお、このIPIXは、2か月前までは「フォトバブル」と呼ばれていたソフトウェアの名前を変更したものだ。



↑ ジャクソンビル市にあるアメフトのアルテル・スタジアムの全景。

URL http://www.jaguarsnfl.com/jag_web/fnav_stadium.htm



↑ ボタンを押したままマウスを上へ移動させると……見上げれば一面の空。今日はいいい天気。絶好の観戦日和だ!



↑ 横を見ればマスコットキャラクターと応援する人の表情が視界に飛び込む。うーん。たくさん人が入っているなあ。



プラグインをインストールしてみよう

IPIXを楽しむには、WWWブラウザに、「プラグイン」というIPIXを使う機能を追加するためのソフトウェアを組み込む必要がある。プラグインソフトの組み込み方はとても簡単なので、初心者の人でも難しく考えずに挑戦してみよう。

IPIXを楽しむには、プラグインソフトウェアをインストールするだけでいい。今月号のCD-ROMに収録されているので、さっそく使ってみよう。プラグインのインストーラーは、ウィザード形式で、初心者にもわかりやすく作られているので、問題はない。注意すべき点は、自分の使っているブラウザがインターネットエクスプローラかネットスケープナビゲーター(コミュニケーター)かということくらいだ。両方使っている人は注意しよう。ウィンドウズ95の場合、「SETUP」ファイルをダブルクリックするだけで、すぐにインストールは終わる。終わったら、WWWブラウザをすでに立ち上げている人は終了させて、いったん起動し直そう。最初にアクセスするなら、IPIXの日本版のオフィシャルページがおすすめだ。さまざまなページが掲載されているし、毎月違うデータがアップロードされている。

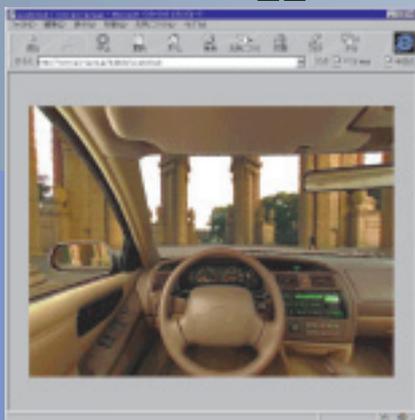
↑ 「IpxVw32.exe」をダブルクリックすると、初期画面が表示される。「Next」ボタンを押す。

↑ フォルダの位置を指定する。このままの位置でよければ「Next」ボタンを押す。

↑ 自動的にファイルがコピーされる。この画面の間はなにもしなくてよい。

↑ コピーが終了した旨が表示される。「Finish」ボタンを押す。

アクセス!!

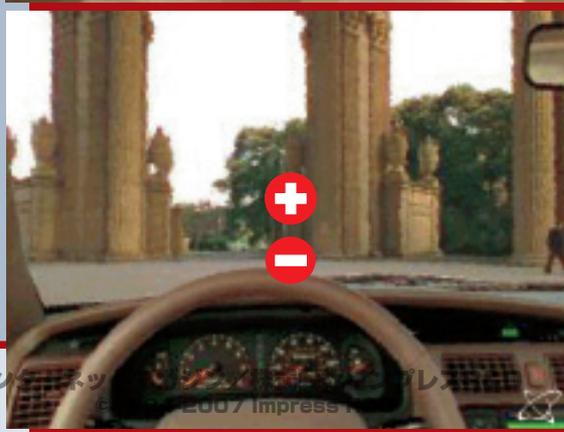


① 最初にはまずIPIXの公式サイト (<http://www.ipix-jp.ne.jp/>) にアクセスしてみよう。



② マウスのボタンを押しながら上下左右に動かすと、画面がスクロールする。画面は、90°ほど右に動かしたところ。

使い方

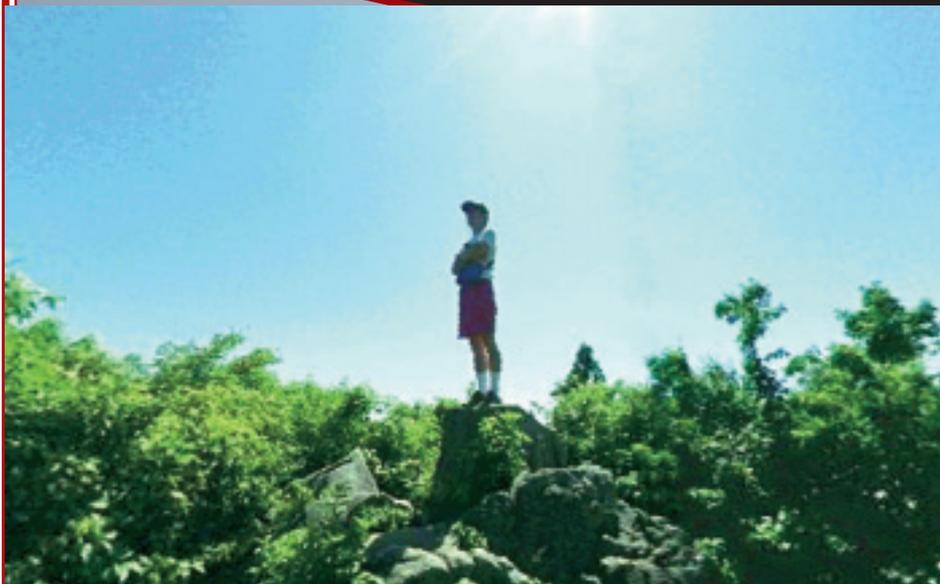


③ 画面中央付近より少しだけ上にマウスを動かすと「+」マークが表示される。そのままボタンを押せば画面が拡大する。下にずらすと「-」マークになり、画面が縮小する。

PART 2

どんどん出てきたIPIXサイト おすすめの風景一挙紹介!

さて、無事にインストールできたら、次は、
さまざまなサイトにアクセスしてIPIXによる絶景を満喫しよう。
どのページも、実際に行きたくなるようなところばかりだ。



広大な風景が楽しめる 絶景サイト

360°の景色を楽しめるIPIXだからこそ、広
い場所から眺め渡すのが一番。すばらしい眺望
を楽しもう!

●冒険家・中村進さんの日本100山連続踏破プロジ
ェクトのページ。登頂するたびに山頂で写真を撮り、
ウェブに次々に掲載している。山頂からの景色が堪
能できるサイトだ。

URL <http://www.ipix-jp.ne.jp/index2.html>



●IPIXの製造元・オムニビュー社のページ。水中で
撮った映像。魚も、ダイバーも泳いでいて、まるで
水中にいるような錯覚に襲われる。

URL <http://www.ipix-jp.ne.jp/bubble/underwater.bub>



●米国全域をカバーする住宅情報サイト
「Rent Net」のページ。住宅の様子をより
具体的に表現するためにIPIXを使っている。
アメリカの住宅状況が分かって面白い。

URL http://www.rentnet.com/bubbleviews/theprestonatwillowbend_pool.bub

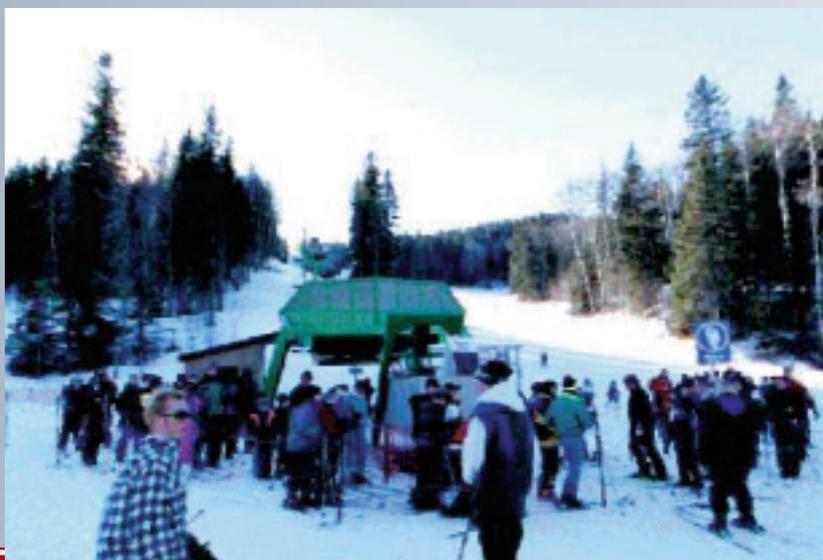
●米国 Medicine Hat市の紹介ページ。
Hidden Valleyというスキー場を紹介している。

URL <http://www.city.medicine-hat.ab.ca/bubbles/hvalleya.bub>



●栃木県のゴルフカントリークラブ・ヴェルデ佐野カ
ントリー倶楽部 (TEL 0283-62-5711) のページ。コ
ースに出る前に気分を高めてみては?

URL <http://www.tokyoweb.or.jp/verde/bub01.bub>





IPIX

建物や車の中でも視点が自由自在！

360°の眺望を楽しめるIPIXは、何も屋外での眺望しか楽しめないわけではない。建物の中や車内などで使えば、情景がそのまま再現できる。



● 衆議院を紹介するページ。本会議場の天井なんてテレビじゃ見られないから、けっこう貴重な映像かも。

URL <http://www.shugiin.go.jp/syu/co nfer.bub>



● 浅草にある古い土蔵を改装したギャラリー兼酒場「ef」(TEL 03-3841-0114)の紹介ページ。写真家の塩澤秀樹さんが撮影した。

URL <http://www.softbank.co.jp/internetguide/event/bubble.html>



● 極真会館本部道場のページ。格闘技好きにオススメ。それにしてもこのお兄さん、コワイ。

URL <http://www.il-net.or.jp/kyokushin/photo/photo.img/kyosin.bub>

● プロバスケットチーム「Chicago BULLS」の紹介ページ。BULLSの試合を特等席で見よう。

URL <http://www.chicago.tribune.com/sports/bull9697/bubbles/bullbub1.bub>



● 米国のコミュニケーション社の紹介ページ。夏は過ぎたけどプールが忘れられないあなたに。

URL <http://www.cvcmedia.com/>

コンピュータグラフィックスでも楽しめる！

IPIXは写真データだけをデータ化するわけではない。ポリゴンによる3Dモデル作成ツールからもデータを生成できるようになっている。これならば、3Dグラフィックスのさまざまな情報を楽しめるわけだ。ここで紹介されているのは、3Dによるカジノの再現。写真のように、雲台による影を隠すための丸い影を隠すための「キャップ」と呼ばれる黒い円が見えることもない。



● 写真と違って独特のフニキ。ポリゴンの世界の中にとっぷり浸れるぞ！

URL <http://www.discovery.com/area/science/titanic/gallery/bubbles/frstclas.bub>

見るだけでは飽き足りないあなたに IPIXデータの作り方

360°の眺望が楽しめるIPIXのすばらしい風景を満喫していただけたらどうか。これを見て「自分もこんなサイトを作りたい!」と思ったあなた、思い切ってチャレンジしてみてもは? 機材やソフトウェアは少々高価だが、ひと味違うホームページを作りた企業や住宅関連、観光関連の企業なら試してみる価値はある。ここでは、IPIXの生成の過程を、ほんの少しだけ紹介しよう。

IPIXのサイトを作るのに必要なのは、ペンティアム90以上のコンピュータと「IPIX Builder」というソフトウェア、そして、写真データから作る場合は、焦点距離9mmで、視野角180度の魚眼レンズが必要だ。

このレンズは30万円以上もする高価なもの。日本では、ニコン株式会社とシグマ株式会社の2社からしか発売されていない。ニコンのレンズは、ニコンのFマウントのみだが、シグマ社のものは、さまざまな会社のカメラに装着できる。

このレンズで撮影したフィルムは、通常の35mmフィルムに、円形に像が写る。1枚に、カメラを基点として上下左右180°の映像が映るわけだ。それを前後に2枚写す。IPIXデータを生成するにはその2枚を「IPIX Builder」というソフトウェアで張り合わせる。IPIX Builderの価格は198,000円。これには10枚生成できるライセンスが付く。1枚生成するたびにIPIXはライセンス料金がかかるようになっている。ここまで読んで「とても高く手が出ない」とお嘆きの方は、下のサイトをご覧ください。IPIXを1枚単位で作ってくれる会社があるのだ。料金はだいたい11つのデータの作成で5万円くらいから。まあ、これでも少々高いと言えるかもしれないが、企業のホームページ用なら手が出せない価格ではない。

● IPIXデータの制作を1枚単位で作ってくれるオムニビューシステム
URL <http://www.ovs.co.jp/>



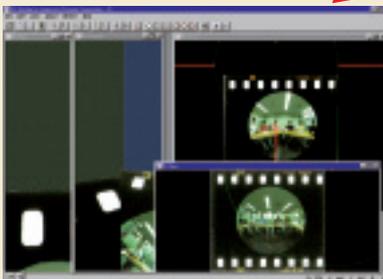
1 撮影しているところ。特殊な雲台を使って1枚撮ったら180°回転させてまた撮る。



2 現像したフィルムをスキャナーで読み取り、パソコンで読み込む。



3 9mmの魚眼で写すと、像が円形に写る。この2枚の写真を貼りあわせることで、IPIXデータができる。



4 「IPIX Builder」を使って加工する。



5 できあがりの画像。3の写真と見比べると、天井付近の歪みが補正されているのが分かる。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp